

全医労

14 夜勤改善・大幅増員署名推進ニュース

2015年5月26日 No.7

5・19 関信青年委員&本部署名宣伝行動 in 大塚



5月19日大塚駅前では署名宣伝行動を行いました。当日は関信地方協の青年委員会でした。突然のお誘いにも関わらず、集まっていた青年委員10人が応えてくれ、合同での署名行動になりました。

街頭宣伝行動に参加するのは初めての人がほとんどでしたが、マイクをもって訴え、道行く人に声を掛け、署名のお願いをし、堂々と宣伝してくれました。

この日は40分で80筆の署名を集めることができました。



ナースウェーブで署名宣伝行動

——— 愛知地区

5月12日は「看護の日」でした。

全国で、ナースウェーブに取り組み、街頭署名を展開したところも多かったと思います。

愛知地区は、県医労連の「看護の日」宣伝行動に参加し、県議会への要請をしました。

また、例年よりも早い台風接近の風雨の中、街角の広場にテントを張り、血圧測定や体脂肪測定、署名宣伝行動を展開しました。全医労からも4支部6名が参加しました。



*** 看護の日とは ***

「看護師を増やしてよい看護をしたい」と願う全国の医療労働者の運動は、1990年「ナースウェーブ」と名付けられ現在に至っている。当時、全国で看護婦不足が世論になる中で、中島みちさん（作家・アナウンサー）が呼びかけ人となり「看護の日制定を願う会」が発足。日野原重明や橋田寿賀子らも賛同し、5月12日ナイチンゲールの生誕日を「看護の日」と制定することが決まった。いわば、私たちの運動で作らせた記念日です。